$\begin{cases} \vec{e}_1 = 2\vec{f}_1 + \vec{f}_2 \\ \vec{e}_2 = \vec{f}_1 + \vec{f}_2 \end{cases}$

を満たすとする.このとき, $\{O; \vec{f_1}, \vec{f_2}\}$ -座標系における P の

(2) 平面ベクトルの基底 $\{\vec{f_1}, \vec{f_2}\}$ が関係式

座標を求めなさい.

1 次の各間に答えなさい。なお、ベクトルの成分はある直交座標系における成分であるとする。(各4点)

(1) ベクトルの内積の定義を述べなさい.

- (2) ベクトル $\vec{a}=(1,2,3)$ と $\vec{b}=(2,\alpha,\beta)$ に対し、 \vec{a} と \vec{b} の外積 $\vec{a}\times\vec{b}$ が零ベクトルであるとする。このとき、 α,β の値を求めなさい。

い. (各4点)

- (1) A が直交行列となるような k の値を求めなさい.
- (2) kが(1)の値のとき、Aの逆行列を答えなさい。

2 $\{O; \vec{e_1}, \vec{e_2}\}$ を平面の座標系とし、この座標系における P の座標を (1,2) とする。このとき、次の各間に答えなさい。(各 4 点)

(1) $\{O; \vec{e_1}, \vec{e_2}\}$ -座標系における点 O' の座標を (-5,2) とするとき, $\{O'; \vec{e_1}, \vec{e_2}\}$ -座標系における P の座標を求めなさい.

- [4] ある直交座標系を定めた平面において、2 点 A(1,2), B(-2,1) を通る直線を l とする。また、原点を中心に $\frac{\pi}{4}$ だけ反時計周りに回転させる線形変換を f とする。このとき、以下の間に答えなさい。 (各 4 点)
- (1) l上の点をパラメーター表示しなさい.
- (2) 点 (-5,0) が l 上の点かどうか判定しなさい.
- (3) f の表現行列(つまり、 $f(\vec{p})=M\vec{p}$ を満たす行列 M)を答えなさい。
- (4) 線形変換 f で直線 l を変換した像を l' とする. l' がどのような 図形か答えなさい (l' が直線のときは、l' 上の点 (x,y) が満た す方程式を答えなさい).

(注意) 以下の問題はおまけですが、正解ならば加点します(ただし、合計点数の上限は 40 点).

5 ある直交座標系を定めた平面において、 2×2 -行列 M を表現行列とする平面の線形変換を g とする(つまり、 $g(\vec{p}) = M\vec{p}$)。2 点A(1,1), B(2,-1) の g による像 A' = g(A), B' = g(B) の座標がそれぞれ A'(3,-1), B'(0,5) のとき、行列 M を求めなさい。